

日 本 史

(問 題)

2023年度

〈2023 R 05173323〉

注 意 事 項

1. 試験開始の指示があるまで、問題冊子および解答用紙には手を触れないこと。
2. 問題は2～9ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚損等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 解答は、すべてHBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
4. マーク解答用紙記入上の注意
 - (1) 印刷されている受験番号が、自分の受験番号と一致していることを確認したうえで、氏名欄に氏名を記入すること。
 - (2) マーク欄にははっきりとマークすること。また、訂正する場合は、消しゴムで丁寧に、消し残しがないようによく消すこと。

マークする時	● 良い	○ 悪い	○ 悪い
マークを消す時	○ 良い	○ 悪い	○ 悪い

5. 記述解答用紙記入上の注意
 - (1) 記述解答用紙の所定欄（2カ所）に、氏名および受験番号を正確に丁寧に記入すること。
 - (2) 所定欄以外に受験番号・氏名を記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
 - (3) 受験番号の記入にあたっては、次の数字見本にしたがい、読みやすいように、正確に丁寧に記入すること。

数字見本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

- (4) 受験番号は右詰めで記入し、余白が生じる場合でも受験番号の前に「0」を記入しないこと。

万	千	百	十	一
	3	8	2	5

(例) 3825番⇒

6. 解答は、すべて所定の解答欄に記入すること。所定欄以外に何かを記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
7. 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離さないこと。
8. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答をやめ、筆記用具を置き解答用紙を裏返しにすること。終了の指示に従わない場合は、答案のすべてを無効とするので注意すること。
9. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。
10. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。

〔I〕 琉球列島の歴史に関する次の文章を読んで、問に答えなさい。

^a サンフランシスコ平和条約発効後もアメリカの施政権下におかれていた沖縄は、1972年5月、日本に復帰した。しかし基地問題など様々な課題を抱えての復帰で、その多くが今も未解決のままである。そこには、近代以降の歴史だけでは捉えきれない、難しい問題も内包されている。ここで、沖縄地域の歴史について少し振り返ってみることにしよう。

^b 琉球列島の人々は、日本の弥生時代や古墳時代、九州島の人々と貝交易などを通じて盛んに交流を行っていた。けれども日本の史料において、倭国中枢部と琉球列島の交流が伝えられるのは推古天皇の時代以降である。そこには、^c 6世紀後半から7世紀前半頃の緊迫化した東アジア情勢をうけて、倭国が列島周辺部への関心を高めていたことが影響しているだろう。その後、律令国家の時代になると、この地域は「南島」と総称され、日本王権に朝貢すべき版図外の地域として位置付けられていく。奈良時代後半には、南島人の来朝記事が史料から見えなくなるが、その後も^d 大宰府などを介し、交易関係は維持されていたとみられる。ただし、その実態を伝える文字資料は乏しい。

一方、近年の考古学研究によれば、琉球列島では11世紀以降、須恵器に似た土器の生産や流通がみられるなど、新たな動きがあった。やがて按司と呼ばれた各地の首長たちがグスクを拠点に勢力を広げ、これらは沖縄本島において、山北（北山）・中山・山南（南山）の3つの勢力（三山）に統合されていく。また^e 三山の王は、相次いで中国と外交関係を結んだ。その後、1420年代に中山王の **A** が三山を統一し、琉球王国が成立した。

^f 琉球王国は、広い海域で貿易活動を行い栄えた。しかしほどなくして、ポルトガル人のアジア貿易への進出など、あいつぐ競争相手の登場により、16世紀にはその活動が後退する。さらに1609年、^g 琉球は薩摩の島津氏によって征服され、薩摩藩の支配下に入る。

その後、明治になると、政府は、島津氏と中国に「両属」する^h 琉球王国を近代国家に編入していく。ただし、土地・租税・地方制度は旧制度が温存され、参政権の付与も遅れた。このため、沖縄県最初の学士となった **B** らによる改革を求める運動も起こされた。その後も沖縄は、日本と国際社会の狭間で揺れ動き続けることとなる。

〔問〕

1 下線 a に関して述べた文のうち誤っているものはどれか。1つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。

- ア 奄美諸島は、沖縄返還より前にアメリカから日本に返還された。
- イ 小笠原諸島は、沖縄返還より前にアメリカから日本に返還された。
- ウ 沖縄県祖国復帰協議会が、復帰運動を推進した。
- エ 佐藤栄作首相・ケネディ大統領の会談で、1972年の沖縄返還が合意された。
- オ 沖縄返還協定において、沖縄の軍事基地をアメリカが使用することが認められた。

2 下線 b の時代の琉球列島の様子について述べた文のうち正しいものはどれか。1つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。

- ア 狩猟採集に基礎をおく縄文文化が広がっていた。
- イ 日本の古墳時代の後期には、前方後円墳を築く有力者もあらわれた。
- ウ 狩猟採集を中心としつつ、水稻稲作も取り入れた文化が広がっていた。
- エ 貝塚文化と呼ばれる漁労を中心とした文化であった。
- オ 擦文土器と呼ばれる土器が使われていた。

- 3 下線 c に関して述べた文のうち正しいものはどれか。1つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。
- ア 領土拡大のため南下する高句麗が、新羅と連携し、百済や加耶諸国、倭国と戦った。
 - イ 中国の置いた楽浪郡や帯方郡が、朝鮮半島や日本列島に大きな影響を及ぼしていた。
 - ウ 隋と高句麗との間で、軍事的緊張が高まっていた。
 - エ 高句麗が、隋を滅ぼした唐と連携して、勢力の拡大をはかっていた。
 - オ 新たに勃興した渤海が、唐や新羅に対抗した。
- 4 下線 d に関して述べた文のうち誤っているものはどれか。1つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。
- ア 長官は帥で、次官には大式と少式があった。
 - イ 西海道諸国を統轄した。
 - ウ 対外的な業務にあたった。
 - エ 防人司が属していた。
 - オ 政庁は筑後国に置かれた。
- 5 下線 e に関して述べた文のうち正しいものはどれか。1つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。
- ア 中山王は、元から「琉球国中山王」として冊封されていた。
 - イ 13世紀に明が成立すると、中山王に入貢を促した。
 - ウ 中山王が明に入貢し、山北・山南の王もこれにつづいた。
 - エ 南山王は、今帰仁城（グスク）を拠点に中国と交流を行った。
 - オ 中山王は、宋にも朝貢していた。
- 6 空欄 A に該当する人物は何か。漢字で記述解答用紙の解答欄に記入しなさい。
- 7 下線 f に関して述べた文のうち誤っているものはどれか。1つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。
- ア 琉球王国は、諸国間をつなぐ中継貿易をおこなっていた。
 - イ 琉球王国は、東南アジア諸国とも貿易関係を結んだ。
 - ウ 琉球王国は、朝鮮とも通交関係を結んだ。
 - エ 中国人に貿易や海外渡航を広く奨励する明の政策が、琉球王国の貿易活動を支えた。
 - オ 明から渡来した中国人が、琉球王国の外交活動を支えた。
- 8 下線 g に関して述べた文のうち正しいものはどれか。1つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。
- ア 薩摩藩主の島津齊彬が、琉球に軍を派遣した。
 - イ 薩摩藩は、琉球で検地をおこなった。
 - ウ 薩摩藩の支配下にあっても、通商交易権は全面的に琉球王国にあった。
 - エ 薩摩藩は、琉球王国と中国との関係には全く関与できなかった。
 - オ 薩摩藩の琉球侵攻は、幕府の同意を得ぬまま実行された。

9 下線 h に関して述べた文のうち正しいものはどれか。1つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。

- ア 琉球王国を琉球藩にあらためた後、武力を背景にこれを廃して沖縄県を設置した。
- イ 琉球王国を琉球藩にあらためると、清国もこれをただちに支持した。
- ウ 武力を背景に琉球藩をあらたに設置すると、中央から役人を藩王として送り込んだ。
- エ 沖縄県をあらたに設置すると、琉球の旧王族を県知事に任命することにした。
- オ 全国で廃藩置県が断行される直前に、琉球王国は琉球藩にあらためられた。

10 空欄 B に該当する人物は誰か。漢字で記述解答用紙の解答欄に記入しなさい。

〔Ⅱ〕 日本における歴史の編纂や叙述に関する次の文章を読んで、問に答えなさい。

古代における律令国家の成立は、そこへ至る歴史に対する関心をよびおこした。こうして、はじめての正史である『日本書紀』が編纂された。平安時代になると、^a虚構をまじえた歴史物語や合戦の経緯を描いた軍記物語なども登場し、その後、多彩な歴史叙述が展開していった。軍記物語では、平氏の栄華から滅亡を描いた『平家物語』が特に有名で、それは琵琶法師が A として語り、多くの人びとに受け入れられたことによるところが大きかった。『平家物語』は史料として活用されることも多く、現代の人びとの歴史観にも大きな影響を与えている。

中世で歴史観・歴史理論に関する著作としては、慈円の『愚管抄』、北畠親房の『神皇正統記』がよく知られている。著者の出自や政治的立場に規定されている観は否めないが、個人の歴史観・歴史理論が発揮されていること自体は注目すべきであろう。このほか、鎌倉～南北朝時代には特色ある歴史編纂・叙述が、さまざまに行われた。これと比較すると室町～戦国時代はやや見劣りがするようにも思えるが、もちろん異なる見方もあるところであろう。

近世になると江戸幕府は林羅山・鶯峰父子に国史編纂を命じた。これによって成ったのが『B』である。また、水戸藩では『大日本史』の編纂がおこなわれた。歴史叙述では新井白石なども独自の歴史観を展開し、近世後期には頼山陽が『C』などで尊王論を説いた。

近世には幕府・諸藩で古文書の収集・編纂がしばしばみられたが、これもみずからの歴史に対する関心の高まり、それに基づく歴史編纂・叙述の準備と捉えられよう。近代には東京帝国大学の史料編纂掛で、収集した膨大な史料を用い、『D』『大日本古文書』などの編纂が進められた。民間では E が『日本開化小史』を著し、歴史の編纂や叙述は担い手も著作数も増加していったが、そのようななか政治的な問題もしばしば生じることとなった。

〔問〕

1 下線 a に関して述べた文のうち正しいものはどれか。1つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。

- ア 太安万侶（安麻呂）が中心となって編纂された。
- イ 推古天皇からの歴史が記された。
- ウ 「帝紀」「旧辞」をもとにした記述はない。
- エ 完成後、朝廷は『風土記』の編纂を諸国に命じた。
- オ 長屋王の変については記されていない。

2 下線 b に関して述べた文のうち正しいものはどれか。1つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。

- ア 『将門記』は軍記物語の先駆的なものである。
- イ 『栄華物語』は藤原道長をたたえ、道長に献上された。
- ウ 『大鏡』は漢文体で書かれた。
- エ 『陸奥話記』には後三年合戦の経緯が書かれた。
- オ 『今鏡』は藤原通憲の著作である。

3 空欄 A に該当する語句は何か。漢字 2 字で記述解答用紙の解答欄に記入しなさい。

4 下線 c に関連して述べた文①～④のうち正しいもの 2 つの組み合わせはどれか。1 つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。

- ① 慈円は藤原兼実の弟である。
- ② 慈円は天台座主をつとめた。
- ③ 北畠親房は『建武年中行事』も著した。
- ④ 北畠親房は唯一神道の理論により『神皇正統記』を著した。

ア ①と② イ ①と③ ウ ①と④ エ ②と③ オ ②と④

5 下線 d に関連して述べた文のうち正しいものはどれか。2 つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。

- ア 『吾妻鏡』は鎌倉幕府の滅亡までが記されている。
- イ 虎関師錬は日本の仏教の歴史を『元亨釈書』で著した。
- ウ 『増鏡』は源平争乱以後の歴史を武家の視点で記した。
- エ 『梅松論』は武家の立場から南北朝合一までをえがいた。
- オ 軍記物語である『太平記』はのちに広く普及した。

6 空欄 B に該当する語句はどれか。1 つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。

ア 中朝事実 イ 武家事紀 ウ 本朝通鑑 エ 古史通 オ 藩翰譜

7 下線 e に関連して述べた次の文 X・Y・Z の正誤の組合せのうち、正しいものはどれか。1 つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。

- X 徳川光圀が完成させた。
- Y 彰考館で編纂が行われた。
- Z 編纂事業のなかから水戸学がおこった。

ア X-正 Y-正 Z-正 イ X-正 Y-正 Z-誤 ウ X-正 Y-誤 Z-正
エ X-誤 Y-正 Z-正 オ X-誤 Y-正 Z-誤

8 空欄 C に該当する語句はどれか。1 つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。

ア 自然真営道 イ 日本外史 ウ 慎機論 エ 新論 オ 戊戌夢物語

9 空欄 D に該当する語句は何か。漢字 5 字で記述解答用紙の解答欄に記入しなさい。

10 空欄 E に該当する人物はどれか。1 つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。

ア 久米邦武 イ 高山樗牛 ウ 田口卯吉 エ 徳富蘇峰 オ 福沢諭吉

〔Ⅲ〕 日本における寄付の歴史について述べた次の文章を読んで、問に答えなさい。

「勧進」という言葉がある。古くは慶滋保胤の **A** のなかにも登場するのだが、ここでは金銭的、物質的な寄付を含意することなく、 **B** の布教を意味していた。その一方で、布教に従事した僧たちの多くは、安定した経済的基盤をもたず、民衆の支援を必要とした。ここに「勧進」の言葉と寄付が結びついた。11世紀後半以降、寄付をともなう勧進や、勧進聖とよばれる僧が散見するようになる。東大寺大勧進職として、その復興に従事した重源の活動は、その延長線上に位置づけられる。鎌倉時代後期から南北朝時代にかけて、法隆寺や東寺なども大勧進職を置き、律宗の僧をその任に当て、土木事業の組織化を進めていった。15世紀に朝鮮へ派遣された使者たちは、天龍寺や興福寺などへの勧進のために、朝鮮に対して大藏經を求めることもあった。歌舞伎の人気演目のひとつに、勧進帳があるが、「勧進帳」とは、以上のような場合に社寺造立などの趣旨を記して寄付を募集するための文書を意味する。

鎌倉時代末期になると、勧進興行といわれる活動がみられるようになる。勧進興行とは、芸能の興行をおこなうことで観客を動員し、彼らから入場料を徴収して、寄付として社寺の経営に充てる営みである。その初見は、1317年におこなわれた勧進猿楽だとされ、とりわけ15世紀から16世紀にかけて、京都で多くの勧進猿楽がおこなわれたことが知られている。応仁の乱以後、足利将軍家の弱体化や、町衆の台頭により猿楽における勧進の性格は薄らいでいった。古来から存在した相撲は、17世紀後半以降、勧進相撲として公的な許可を得て興行されるようになった。

相撲会場のひとつにもなった両国の回向院では、他方で出開帳といわれる催しが頻繁におこなわれた。出開帳とは、寺院が秘蔵する仏像・霊宝などを繁華街にもちだして公開し、人々から賽銭・寄付を集める行為である。江戸では、信濃善光寺・身延山 **C** 寺・成田山新勝寺・清涼寺の出開帳が人気だった。

近代化の動きは、勧進にも影響を与えずにはおこななかった。神仏分離令が出されたことは、寺院はもとより神社のあり方にも変革をもたらした。神社は、崇敬講社や保存会を設立して寄付の獲得にいそしむこととなった。日清戦争から日露戦争にかけての時期には、ビジネスとしての巡礼を強化しようとする神社も現れた。

このように、日本における寄付の歴史は、時として宗教性が希薄になることが指摘されつつも、基本的には社寺と結びついて展開し、そのあり方も多様に広がっていったことがわかる。

〔問〕

- 1 空欄Aに該当する書名はどれか。1つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。
ア 『往生要集』 イ 『性靈集』 ウ 『過去現在絵因果経』 エ 『日本往生極楽記』 オ 『日本靈異記』
- 2 空欄Bには、10世紀なかばから11世紀なかばにかけてとくに流行した、阿弥陀仏を信仰することで来世において悟りを得ることを説く教えの名が入る。この時期にこの教えを広めた僧の名前はどれか。1つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。
ア 空也 イ 鑑真 ウ 景戒 エ 玄昉 オ 円仁
- 3 下線aに関連して、重源が活動したころの東大寺について述べた文のうち誤っているものはどれか。1つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。
ア 再建には陳和卿が協力した。
イ 造仏には運慶らが協力した。
ウ 豪放な力強さを特色とした大仏様とよばれる建築様式を採用した。
エ 現存する大仏殿はこの時の建築である。
オ 現存する南大門はこの時の建築である。

- 4 下線 b に関連して、鎌倉時代の律宗について述べた文のうち正しいものはどれか。1つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。
- ア 明恵は戒律を尊重し、清浄光寺を創建した。
 - イ 道元は坐禅を尊重し、『喫茶養生記』を記した。
 - ウ 忍性は戒律を尊重し、病人の救済施設を建てた。
 - エ 栄西は坐禅を尊重し、永平寺を創建した。
 - オ 良観は戒律を尊重し、独自の生活歌を詠んだ。
- 5 下線 c に関連して、15世紀の日朝関係について述べた文のうち誤っているものはどれか。1つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。
- ア 朝鮮は、対馬を倭寇の拠点とみなして攻撃した。
 - イ 対馬の宗氏は、通交制度を定めるなど、重要な役割を果たした。
 - ウ 朝鮮半島の3つの港で日本人が暴動をおこした。
 - エ 幕府だけでなく、守護・国人・商人なども関与できた。
 - オ 朝鮮半島には、李成桂が建てた王朝があった。
- 6 下線 d に関連して、猿楽（能）について述べた文のうち正しいものはどれか。1つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。
- ア 宗祇は、その作品を『新撰菟玖波集』にまとめた。
 - イ 観阿弥は、能の真髓を『申楽談儀』にまとめた。
 - ウ 金春座出身の観阿弥・世阿弥父子が、猿楽能を完成させた。
 - エ 観阿弥・世阿弥父子は、足利尊氏の保護のもとに、芸能の水準を高めた。
 - オ 『洛中洛外図屏風』には、能舞台の様子がみえる。
- 7 下線 e に関連して、17世紀後半の出来事について述べた文のうち誤っているものはどれか。1つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。
- ア 井原西鶴が『世間胸算用』を著した。
 - イ 慶長小判を改鑄し、金の比率が低い小判を発行した。
 - ウ 生類憐みの令により、殺生を禁じた。
 - エ 蛮書和解御用が設置された。
 - オ 宮崎友禪が友禅染めをはじめた。
- 8 空欄 C には、鎌倉時代に『立正安国論』を記した僧が開いた宗派の中心寺院の名が入る。該当する言葉を記述解答用紙の解答欄に漢字2字で記入しなさい。
- 9 下線 f について述べた文のうち正しいものはどれか。2つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。
- ア 1868年に出された。
 - イ キリスト教信仰が解禁された。
 - ウ 神祇省の設置を決めた。
 - エ 神道国教化政策の一環として出された。
 - オ 紀元節を制定した。

10 下線 g に関連して、19世紀末の出来事について述べた文のうち正しいものはどれか。1つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。

- ア ラジオ放送が開始された。
- イ 日産や日産などの新興財閥が台頭した。
- ウ 私鉄を母体に、ターミナルデパートが登場した。
- エ 日本鉄道会社が、上野・青森間などの鉄道網を整備した。
- オ 工業人口が、農業人口を上まわった。

〔IV〕 日本における地誌・紀行文について述べた次の文章を読んで、問に答えなさい。

地方の特色を記すことは、日本の歴史において古代以来、くりかえし行われてきた事項のひとつである。風土記が編纂されたのは8世紀前半のこととされるが、いずれもそれぞれの地方における伝承、地名の由来、特産物などの情報を丹念に記載している。それらは地方の習俗が持つ個性を知る上で貴重な資料となっている。

中世に入って、幕府の置かれた鎌倉と京都の間の行き来が頻繁になってくると、東海道に関わる風物が紀行文の中に書かれるようになった。13世紀に成立した『十六夜日記』『東関紀行』『海道記』などをみても、いずれも京都から鎌倉に下る道中の見聞、景勝が描かれており、地誌の内容を兼ねた側面がある。中世後期に入ると武士が次第に農村から離れて都市に暮らし始め、さらに16世紀末にすすめられた兵農分離や商農分離など身分にかかわる政策によって、武士は城下町で生活を送り、農民は農村に暮らすことが基本となった。また、武士の都市生活と関連して商人・職人も城下町で町人の階層を形成してゆき、武士とともに、農村の生活習俗について観察することが多くなった。

近世も後期になると、地方には都会では衰微した習俗が残っていることを指摘し、それらの収集を説く学者、文人が目につくようになる。たとえば、国学者・本居宣長はその著『玉勝間』の中で「詞のみにもあらず、よろづのしわざにも、かたゐなかなには、いにしへごまの、みやびたることの、のこれるたぐひ多し」と、様々な生活上の営みは文字に限らないとしており、その資料的な価値を認めている。紀行文では、『A 遊覧記』が東北地方を中心に民間習俗を自筆の挿絵とともに採集しており、今日でも当時の生活資料を知る上で参照されることが多い。また、『北越雪譜』は雪の観察から雪国の習俗や伝承を記録しており、優れた地誌としての性格を持っている。これに加えて神社仏閣や名所、街道・宿場などの案内記として多くの『B』が刊行され、当該地の年中行事や習俗的な内容を含んでいるものも少なくなかった。このほか、17世紀以降にあらわれた多くの『C 農書』は、種々の農具や農法とともに、地方の儀礼についても紹介している。

近代に入って、地誌は客観的な記述だけでなく、同時代の思想的な色彩を帯びることもあった。その一例として1894年、政教社から刊行された志賀重昂の『日本風景論』は明治中期の国粹主義を背景としながら、特定の地域に止まらず、日本各地の自然、名勝、風景の持つ美質を称揚し、その後も長きにわたって版を重ねた。また、1889年に東陽堂から創刊された『C』は、日本最初のグラフ雑誌とも呼ばれているが、懐古趣味という側面から地方の民間習俗や年中行事などの地誌の情報も掲載した。急速な近代化の中で、失われつつある儀礼、習慣は地誌という形で顧みられることが多くなってゆく。

〔問〕

1 下線 a に相当する以下の資料のうち、ほぼ完全な形で残っているとされるものはどれか。1つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。

- ア 『常陸国風土記』 イ 『播磨国風土記』 ウ 『出雲国風土記』
- エ 『豊後国風土記』 オ 『肥前国風土記』

- 2 下線 b の作者は誰か。漢字で記述解答用紙の解答欄に記入しなさい。
- 3 下線 c に関連して述べた文のうち、誤っているのはどれか。1つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。
- ア 刀狩令では、百姓は農具を持って耕作に専念すれば、子々孫々まで幸福であることが説かれた。
- イ 太閤検地によって、村ごとに田畑・屋敷地の面積や等級が調査され、石高が定められた。
- ウ 太閤検地によって、検地帳に実際に耕作を行っている農民の田畑・屋敷地が登録された。
- エ 太閤検地によって、それまでまちまちだった枡の容量を京枡に統一することが定められた。
- オ 太閤検地によって、土地の大きさを表示する際の基準が町、段、升、歩に統一された。
- 4 下線 d に関連して述べた文のうち、誤っているのはどれか。1つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。
- ア 賀茂真淵はその著『国意考』において、儒教・仏教の影響を受けない日本の固有信仰を論じた。
- イ 本居宣長はその著『古事記伝』において「漢意」を排し、日本古来の精神「真心」に戻ることを説いた。
- ウ 平田篤胤は復古神道の大成者として知られ、その思想は平田派国学としてのちの尊王攘夷運動にも影響を及ぼした。
- エ 生田万は天保の飢饉による貧民救済を大坂町奉行に訴えたが容れられず、同志と乱を起したが、短期間で鎮圧された。
- オ 伴信友は本居宣長没後の門人であり、考証的随筆『比古婆衣』によって知られる。
- 5 下線 e の読みは何か。平仮名で記述解答用紙の解答欄に記入しなさい。
- 6 空欄 A にあてはまる人名は何か。記述解答用紙の解答欄に記入しなさい。
- 7 下線 f の著者は次のうちのどれか。1つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。
- ア 鈴木牧之 イ 山東京伝 ウ 大田南畝 エ 上田秋成 オ 柳亭種彦
- 8 空欄 B にあてはまる語句は何か。漢字 4 字で記述解答用紙の解答欄に記入しなさい。
- 9 下線 g に関連して、次の著作が成立した年代を時代順に記したものとして、正しいものはどれか。1つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。
- ア 『農業全書』→『農具便利論』→『会津農書』
- イ 『会津農書』→『農業全書』→『広益国産考』
- ウ 『農具便利論』→『農業全書』→『会津農書』
- エ 『広益国産考』→『農具便利論』→『農業全書』
- オ 『農具便利論』→『広益国産考』→『農業全書』
- 10 下線 h の結社の機関誌は次のうちのどれか。1つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。
- ア 『国民之友』 イ 『反省会雑誌』 ウ 『解放』 エ 『日本人』 オ 『東洋経済新報』
- 11 空欄 C にあてはまる語句は何か。漢字 4 字で記述解答用紙の解答欄に記入しなさい。

〔以下余白〕

日 本 史

記述解答用紙

<2023 R05173323>

受験 番号	万	千	百	十	一
氏 名					

(注意) 所定欄以外に受験番号・氏名を記入してはならない。記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。

<2023 R05173323>

受験 番号	万	千	百	十	一
氏 名					

(注意) 所定欄以外に受験番号・氏名を記入してはならない。記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。

採 点 欄

(この欄に書き入れてはならない)

〔Ⅰ〕

6	
---	--

10	
----	--

〔Ⅰ〕

1	
---	--

〔Ⅱ〕

3		
---	--	--

9				
---	--	--	--	--

〔Ⅱ〕

2	
---	--

〔Ⅲ〕

8		
---	--	--

〔Ⅲ〕

3	
---	--

〔Ⅳ〕

2	
---	--

5	
---	--

〔Ⅳ〕

4	
---	--

6	
---	--

8			
---	--	--	--

5	
---	--

11			
----	--	--	--

6	
---	--